

感恩のこころ

No.9

関西福祉科学大学教育後援会 広報誌



完成したばかりの診療所を背景に



福科大（関西福祉科学大）の学修支援

一番の使命は「教育」

学校法人玉手山学園
関西福祉科学大学 学長 江端 源治

教育後援会、保護者の皆様には、
本学の教学活動に多大なるご理解

ています。

昨夏の中教審答申で、「日本の
未来を築く、大学教育の質的転換」
が掲げられました。『日本の学生
は諸外国に比べ勉強しない。学生
の主体的な学修時間の実質的増加

修学成就」です。その第一は、
魅力ある活きた授業を教職員が提
供することです。加えて学生たち
の受講姿勢の向上努力も欠かせま
せん。福科大の学生は真面目によ
く勉強をします。それでも、まだ

まだ学修成果向上を目指すことが
できます。その基本は「出席する、
私語を慎む、眠らない、携帯電話
を切るなどの授業マナー」の向上

です。快適授業空間は学生・教職
員の協同でつくりあげていくもの
です。福科大はこの基本に実直に
取り組んでまいります。保護者の
皆様のご理解、ご協力を切にお願
い申し上げます。皆様の大切なお

息女も近い将来、福科大卒業生と
して活躍してくれるものと期待し

福科大の使命は「教育（学生の）」

今年度も資格取得・就職活動への助成など 多彩な後援事業を

教育後援会会長 箕輪 希予志

関西福祉科学大学は、建学の精神「感恩」のもと、豊かな人間性と福祉科学の確かな知識・技術を持ち福祉社会に貢献し得る人材育成を使命とされています。開学17年目の今日、地域、医療、

産業、教育などの福祉分野で、多くの卒業生が活躍されていることは誠に喜ばしいことだと感じております。
教育後援会は、大学に在籍されているご子息・ご息女のご父母・保護者の皆様を会員とし、大学と家庭との連携を緊密にし、在学生の学業及びキャリア形成への支援、さらに大学の教育振興に寄与することを目的として平成17年に発足しました。

卒業生が活躍されることは誠に喜ばしいことだと感じております。
教育後援会は、大学に在籍されているご子息・ご息女のご父母・保護者の皆様を会員とし、大学と家庭との連携を緊密にし、在学生の学業及びキャリア形成への支援、さらに大学の教育振興に寄与することを目的として平成17年に発足しました。

今年度も、資格取得・キャリア形成・就職活動等の進路指導への助成、福利厚生の支援、自然災害時の緊急支援や家計急変時の奨学金給付等の事業を行ってまいります。

また、学生の立派な成長を願い、保護者の皆様と大学との連携を図り、交流を深めるために毎年教育懇談会を開催しております。昨年は本学高松市・和歌山市にて開催し、先生による講演

会員の皆様におかれましても、何卒、ご理解ご協力のほどよろしくお願ひ申しあげます。

会員の皆様におかれましても、何卒、面談会や卒業生による体験談発表が行われました。卒業生体験談は、非常に好評を博し、社会で活躍している卒業生の姿に感動していただいております。教育懇談会は大学との情報交換の貴重な場となっておりますので、是非ご参加いただきたいと思います。

昨今の社会情勢はまだまだ厳しい状況が続いておりますが、志を持ち、入学された学生の方々が有意義な学生生活を送り、その志を成熟し、卒業後それぞれの分野で活躍できるよう積極的な支援活動を進めていきたいと考えております。

平成25年度 総会

平成25年6月2日(日)大学4号館1階大講義室に於いて、平成25年度関西福祉科学大学教育後援会総会が開催されました。

①平成24年度事業報告および決算報告②平成25年度役員改選③平成25年度事業計画および予算
以上の審議事項はすべて承認されました。
すでに会員の皆様には、「報告書」として発送しておりますのでご確認ください。



教育懇談会開催

教授による講演「骨盤の筋肉を鍛える——誰にも言えない尿もれの話」と、各学科の卒業生による「卒業生体験談」、学生支援センター長による「資格・就職セミナー」が行われました。

教育懇談会は、保護者の皆様と大学教職員との交流・懇親の場として位置づけております。
また、個別面談会では、教職員が日ごろのご子息・ご息女の修学状況、学生生活、就職問題等についてご質問にお答えします。

本学会場	関西福祉科学大学
高松会場	平成25年11月9日(土) 11時～14時30分
和歌山会場	平成25年11月24日(日) 10時30分～15時
和歌山会場	リーガホテルゼスト高松 (JR高松駅から徒歩10分)
和歌山会場	平成25年12月8日(日) 10時30分～15時

ダイワロイネットホテル和歌山(南海本線和歌山市駅より徒歩15分)
平成25年12月8日(日) 10時30分～15時

1. 学生の学業および課外活動への助成
 - (1) 奨賞事業
 - ① 学業優秀者表彰
 - ② 学術文化・スポーツ活動奨励賞
 - ③ 社会貢献活動表彰等
 - (2) クラブ・サークル等強化・育成事業
 - (3) 学友会活動の助成・支援事業
 - (4) 図書館事業に係る助成
 - (5) 海外研修制度の助成
2. 学生の進路指導への助成
 - (1) 資格取得に向けた学習活動への助成
 - (2) キャリア形成に係る自己啓発への助成事業
 - (3) 就職活動に係る支援事業
3. 学生の福利厚生を支援するための事業
 - (1) 学内における緊急的な病気・ケガ等に対する助成
 - (2) 学生総合保険の内容充実支援
 - (3) 学生の健康管理助成
 - (4) 施設・備品等の充実助成
4. 自然災害等による学生の家計急変に対する支援事業
 - (1) 家計急変による生活困窮学生への奨学金制度
 - (2) 災害救助法適用地域の学生支援制度

5. 本学と会員相互の連携を図る事業
 - (1) 教育懇談会の開催(大学と共に) 本学および地方開催
 - (2) 教育後援会広報誌の発行
 - (3) ホームページの内容充実
 - (4) ホームページの内容充実
6. その他本会が必要と認めた事業
 - (1) 地域社会連携事業への支援および助成
 - (2) 教員の学術・教育研究および職員の研修に係る助成
 - (3) 同窓会との相互連携に係る助成
 - (4) 学園70周年記念事業への支援

平成24年度 事業報告

平成25年度 事業計画

1. 学生の学業および課外活動への助成
 - (1) 奨賞事業
 - ① 学業優秀者表彰
 - ② 学術文化・スポーツ活動奨励賞
 - ③ 社会貢献活動表彰等
 - (2) クラブ・サークル等強化・育成事業
 - (3) 学友会活動の助成・支援事業
 - (4) 図書館事業に係る助成
 - (5) 海外研修制度の助成

1. 学生の学業および課外活動への助成
 - (1) 奨賞事業
 - ① 学業優秀者表彰
 - ② 学術文化・スポーツ活動奨励賞
 - ③ 社会貢献活動表彰等
 - (2) クラブ・サークル等強化・育成事業
 - (3) 学友会活動の助成・支援事業
 - (4) 図書館事業に係る助成
 - (5) 海外研修制度の助成

1. 学生の学業および課外活動への助成
 - (1) 奨賞事業
 - ① 学業優秀者表彰
 - ② 学術文化・スポーツ活動奨励賞
 - ③ 社会貢献活動表彰等
 - (2) クラブ・サークル等強化・育成事業
 - (3) 学友会活動の助成・支援事業
 - (4) 図書館事業に係る助成
 - (5) 海外研修制度の助成

教育後援会総会 卒業生体験談



●社会福祉学科



松本 和也さん

平成21年3月卒業

取得資格：

社会福祉士

精神保健福祉士

社会福祉法人 祥水園

特別養護老人ホーム

祥水園で相談員として

勤務

○本学での学び

- ・「本当の自分のやりたいことって何だろう?」と自問しつつ、限りある時間をいかに自分の将来のために活かすか(自分への投資)がポイント。
- ・現場実習を体験し、教科書や本などで学ぶことと現場の違いを痛感した。「頭で考えるより心で感じること」を大

事にしたい。

○国家試験、就職活動

- ・勉強、勉強、勉強……でも、4年間の集大成となる国家試験前日は緊張して眠れなかった。
- ・就職活動は自分の目で見て感じることを大事に、足で稼いた。

を知るために“介護職”を志願し3年間勤務。

- ・現在は、相談員(ソーシャルワーカー)として「誰のために仕事をしているのか」「本当の幸せって何なのか?」「何が求められているのか」を日々考えながら仕事をしている。
- ・大学で学んだことが今やっと少しずつ理解できるようになってきた。

●臨床心理学科



石井 史彦さん

平成20年3月卒業(平成22年3月大学院心理臨床学専攻修了)

卒業後、臨床心理士を目指して本学大学院に進学。

大学院修了後、法務教官として少年院で勤務。少年院勤務を経て、本年4月から、和歌山刑務所で受刑者の社会復帰、改善指導などの教育を行う。

取得資格：臨床心理士

○本学での学び

- ・心理学の基礎を幅広く学んだ。ゼミでは、学外の臨床現場で活動に参加する機会を与えていただいた。
- ・小学校の不登校児支援、発達障害のある心理的サポートなどの他、精神科病院、聴覚障害施設、児童養護施設などでのボランティア活動を経験できた。

○後輩へのメッセージ

- ・本学は、より専門的な力を育む環境が用意されています。自ら学ぶ姿勢をもって、めざしている目標・夢に向かってたくさんの経験を積んでほしい。
- ・先生方とのつながりを大切にして、夢をかなえる努力を。

●健康科学科



田代有佳里さん

平成24年3月卒業

取得資格：養護教諭
東京都立田園調布特別支援学校で養護教諭として勤務。

○本学での学び

- ・養護教諭を目指し、勉強会に参加。同期だけでなく、先輩や後輩とのつながりによる情報交換が力になった。
- ・子どもと関わるボランティア活動に参加したことが、教員となるための大変な経験になった。
- ・オープンキャンパスの“顔スタッフ”としても

活動。

○国家試験、就職活動

- ・いろいろな悩みを持つ子どもが保健室に来るので、大学で学んだ力ウンセリング技法が役立っている。
- ・保健室前の掲示板づくりは、見て、聞いて、触って学べる掲示板になるよう工夫をしている。

○現在のお仕事

- ・特別支援学校での経験を活かし、将来は、小学校・中学校・高校など“普通校”で特別支援を必要とする子どもたちに関わっていきたい。



●福祉栄養学科



辻 佐名絵さん

平成24年3月卒業

取得資格：管理栄養士
特定医療法人仁悠会 介護老人保健施設 真秀ら(まほら)で管理栄養士として勤務。

○本学での学び

- ・疾患やそれを改善するための食事療法について学び、それを基に献立作成や大量調理実習などの実習をしたことが現在の業務のベースになっている。
- ・大量調理実習では、指示の出し方だけでなく、何をどうすれば遅配せずに食事を提供できるか、などについて自分たちで考え行動して学んだことが現在の業務に役立っている。

○現在のお仕事

- ・生きること=食べることを感じてもらえる唯一の職業だと考えている。
- ・身体も心も満たすことができる食事を提供できる管理栄養士を目指したい。



社会福祉学科

国家試験対策・グループ別指導

平成元年から始まつた「社会福祉士国家試験」は、平成25年1月末に第25回目の国家試験が実施されました。過去25回の平均合格率は「27.7%」、平成11年から始ました「精神保健福祉士国家試験」は平成25年1月末に第15回国家試験が実施され、過去15回の平均合格率は「63.1%」となりています。決して簡単な試験ではありませんが、社会福祉学科の4年生は、合格を目指して、毎年春学期の毎週水曜日・土曜日に「受験対策講座」を受講しています。



グループ別指導に奮闘中の学生たち

秋学期からは、模擬試験や確認テスト等の実施結果を基に、能力別のクラスに分け、各ステージに応じた受験対策指導を実施しています。さらには、本年度の秋学期からは、毎週月曜日の6時限目に、3年生への受験対策講座も始めています。一人でも多くの学生の「合格」という夢を叶えたいと、教員が一丸となつて応援しています。

を確認し、アドバイスをして

きました。

近年、公務員採用方法の変化（人物重視）・団塊世代の退職・生活保護世帯の増加などにより、福祉行政職の需要は高まり、以前と比べて、随分合格しやすくなっています。

ティベーションは高く、とても熱心に取り組んでいます。

また、月1回、外部講師及び教員による全体講義を行つ

ています。

とから、「会つは別れの始め」とも言われます。そこで、

「離婚」「看取り」といった人生における大きな岐路となるテーマとして、公開講座を行いました。

第一回目の「巣立ち」は「巣立ち・おどろくべき子別れのメカニズム」をテーマに、臨床心理学科の亀島信也教授から進化心理学の視点に立った講演が行われました。また、第2回目は、「離婚の今—協議離婚・調停離婚・判決離婚」をテーマに、英知法律事務所の中道秀樹弁護士から、今日の離婚の実情とその方向性に関する講演が行われました。そして、第3回目は、「看取り・がん緩和ケアでの出会いと別れ」をテーマに、臨床心理学科に所属し、精神科医でおられる柏木雄次郎教授から末期がん患者とその家族のあり方についての講演が行われました。いずれも意味深い内容で、大盛況のうちに無事終了することができました。

社会福祉学科

福祉行政職員・受験対策講座

平成22年度から始ました「福祉行政職員・受験対策講座」は、社会福祉学科の遠藤洋二准教授と柿本志津江講師が担当しています。毎年5月頃に、福祉行政職員を目指す3年生に対して説明会を開き、6月からグループ別指導を行っています。



福祉行政職員・受験対策講座の様子

平成22年度から始ました「福祉行政職員・受験対策講座」は、社会福祉学科の遠藤洋二准教授と柿本志津江講師が担当しています。毎年5月頃に、福祉行政職員を目指す3年生に対して説明会を開き、6月からグループ別指導を行っています。

4年生になれば、受験する自治体の状況に応じて、個別指導を実施しており、既に本年も複数の学生が福祉行政職員に合格しています。

マとして、平成25年10月5日(土)、26日(日)及び11月16日(土)に開催されました。人生には出会いと別れがあります。出会った人とは必ず別れなければならないことがあります。

出逢つた人とは必ず別れなければならないことがあります。

出逢つた人とは必ず別れなければならないことがあります。

出逢つた人とは必ず別れなければならないことがあります。

臨床心理学科

第11回公開講座「わかれ」を開催



▶ 第11回公開講座「わかれ」の紹介。ボスター

健康科学科

**オープンキャンパス
「教員採用2次試験
対策講座」を高校生
と保護者に公開**



教員採用2次試験対策講座の様子

健康科学科は、これまでに多くの養護教諭採用試験合格者を出してきました。毎年、8月には学科の教員採用試験対策委員会を中心に、現役学生および既卒者の教員採用試験1次合格者を対象として2次試験合格対策講座を開催してきました。今年度はオープンキャンパスに参加された高校生や保護者の方にも、その内容を見学して頂くという企画を立てました。高校生は模擬授業を見学し、一緒に面接対策に参加しました。「養護教諭になるという夢をかなえるために、しなければならないことが明確になりました」「卒業しても面倒をみていただけるので安心しました」などの声が高校生や保護者の方から寄せられました。

福祉栄養学科

**福祉栄養学科学生がレシピ集
作成に取り組んでいます。**

料理コンテストに向けて頑張る学生たち



投票会場の様子

保健医療学部リハビリテーション学科では、平成25年5月から12月の間、12回のシリーズで香芝市2次予防事業の認知機能低下予防教室を担当しています。「脳いきいき教室」と題し、地域にお住まいの方の健康生活を維持するためのコツや生活の中での適切なトレーニングや考え方を学んでいただきました。

前半は、作業療法学専攻の横井准教授が自分自身の暮らしを見直しながら、自分にとって意味のある作業とは何かを見つけ出すプログラムを実施。後半は理学療法学専攻の重森教授、鷲野准教授が脳科学に基づいたエクササイズや

えようというプログラムを実施しました。参加者が、教室名のようにいきいきと取り組んでおられるのが印象的で、大変満足いただいた取り組みとなりました。

今後もわれわれの研究を社会に還元できるよう積極的にさまざまな取り組みを提案していきたいと考えています。

リハビリテーション学科

**香芝市にて
「脳いきいき教室」を開催**

と工夫で脳を鍛えながらのひ



▲「脳いきいき教室」の様子

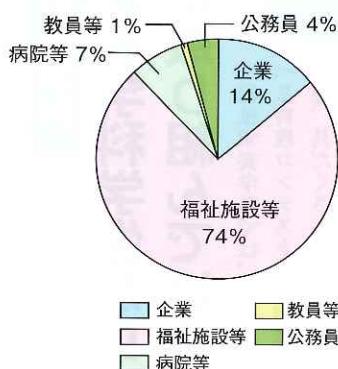
つています！

就職決定率 97.7%

就職決定者／就職希望者 × 100

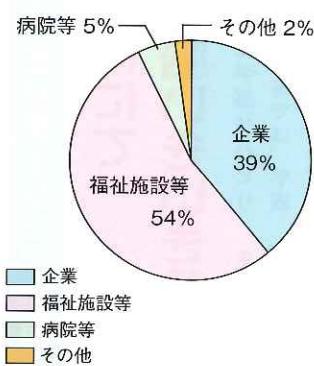
■社会福祉学科

就職決定率 97.7%



■臨床心理学科

就職決定率 94.9%



第1志望への内定を信じて

幼い頃から、鉄道の運転や車掌の仕事に憧れています。鉄道会社への就職は、希望者が多く狭き門であることから、大学に入学する頃には一度はあきらめ、社会福祉士や保育士の専門職を目指すことにしました。

しかし、就職活動を始める前に、鉄道会社の内定を得ている本学の卒業生がいたことを知り、幼少のころからの夢を実現したいという思いが強くなりました。

3年生の10月からは、本学学生支援センターでのキャリアカウンセリングや面接練習をしました。また、他大学の学生も集まる「キャリアプラットフォーム」での履歴書添削や就職活動対策も実施しました。

採用試験までに実力をつけるために、関心のある企業の採用試験を受け、複数の内定をいただきました。そして大本命の鉄道会社の就職

した。さらに、インターネット（e-JOBRASS、学情ナビ等）による採用情報や活動情報の収集をしました。



北澤 剛さん
(社会福祉学科4年生)

内定先：
近畿日本鉄道
株式会社

いろいろな価値観や意見に触れて

私の就職活動のスタートは、インターネットの就職情報サイトに登録したことでした。そして、3年生の10月に、人材派遣会社と小売業2社のインターンシップにも参加し、「どのような気持ちで働きたいのか?」をテーマにしたグループワークを行ったり、会社のキャッシュコピーを考えるという経験を通して、徐々に「就職活動はもう目次に合う企業・仕事を必ずある」と感じ、じわじわと就職活動に火がついていきました。その後、学生支援セ

ンターやハローワーク等の様々な方に相談したり、履歴書の添削をしてもらう中で、いろんな価値観や意見に触ることができ、自分の視野も広がっていったと感じています。

臨床心理学科では、コミュニケーション力などを身につけることができたので、社会人になつても、相手の気持ちを理解しつつ、相手が喜ぶ受け答えを心がけていきた



碓井 敬規さん
(臨床心理学科4年生)

内定先：
株式会社
シティーエス
総合職

就職活動がんば

一番のポイントは「行動すること」

就職活動で結果を残せた一番のポイントは、行動することにあると思います。就職活動は個人での行動が多く孤独を感じることがあります。しかし、自分自身が本気になり周囲の人との情報交換、大学の就職支援の方に相談することや向きに就職活動を行えます。

実際に私は多くの人に相談し、会社を訪ね、その職業の先輩方にお話を聞かせて頂きました。多くの手段で情報を集めることで自分に迷いました。行動するのは一人ですが、決して独りになつてはいけないと思います。

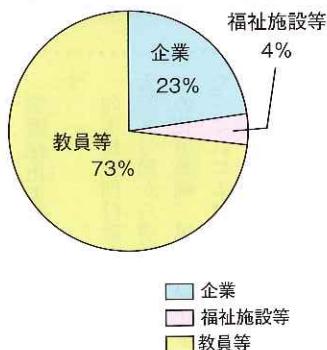
両親は遠くに離れて暮らしていますが、影ながら私の行動を見てくださいましたので、言葉ではなく行動で両親を納得させることができました。大学に通うなかで夢と現実に迷い、違う道に興味を持ったことがあります。様々な道があるなかで分かることは不正解は無いということです。後悔しないように自分自身と向き合ってみてください。



内定先：
健栄製薬株式会社

平成24年度
卒業生(全学科)

■健康科学科
就職決定率 98.2%



妥協せず「できることはやる!」

私がスーパーを志望したのは、大学に入つてからスーパーで食育や弁当コンテスト等をやっているのを知り、流通業界の中に入つて管理栄養士の視点を持つて様々な事業を作つていく仕事をしたいと考えたからです。希望の職種に決まってほつとしています。

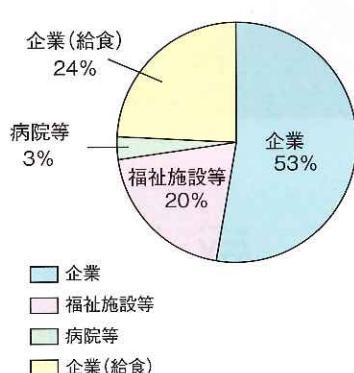
就職活動は妥協せず、「できることはやる!」をモットーに、寝不足でしんどい時期もありましたが、頑張つて乗り越えました。就活セミナーは学内・学外問わず参加しました。まずは相手のことを知ることが大切ですので業界研究や企業研究は可能な限りやりました。

後輩のみなさんは、まずは自己分析をしつかりして、自分は何をしたいのかをはつきりさせることができます。大学の勉強やそれ以外のことも含めて、優先順位をつけて上手に乗り切つてください。



内定先：
イズミヤ株式会社

■福祉栄養学科
就職決定率 100%



関西福祉科学大学附属

総合リハビリテーション診療所開設

関西福祉科学大学附属総合リハビリテーション診療所が9月2日に開設されました。現在、内科、整形外科、リハビリテーション科の患者様を対象とした診療、およびリハビリテーションが実施されています。

リハビリテーションのスタッフは、理学療法士2名、作業療法士2名であり、経験だけでなく、科学的に立証されたリハビリテーションを実施しています。医療機器としては、電気刺激療法や超音波などが使用できる物理療法機器、バランス能力の評価や動作分析が可能な機器など、患者様の状態を改

善させる上で有用な機器も設置されています。今後も、スタッフ一同、外へ来られる患者様に、出来るだけ質の高い医療を提供したいと考えています。

学修支援システム「manaba course(以下・マナバ)」を導入しています。マナバでは携帯電話を利用することで、スマートに出席確認を行い、授業を中心とした情報交換、ポーティーの提出、掲示板での情報交換、資料や教材のダウンロードなどの機能がありインターネットに接続できる環境さえ整つていれば、いつでもどこからでも利用が可能です。本学では10月より学内の無線LAN環境の整備を進めています。

マナバの機能を十全に活用するためには、スマートフォンでポーティーの提出、掲示板での情報交換、資料や教材のダウンロードなどの機能がありインターネットに接続できる環境さえ整つていれば、いつでもどこからでも利用が可能です。本学では10月より学内の無線LAN環境の整備を進めています。

『マナバ』を使った新しい教育

二〇一三年の春学期より、授業支援・

学修支援システム「manaba course(以下・マナバ)」を導入しています。マナバでは携帯電話を利用することで、

マナバの機能を十全に活用するためには、スマートフォンでポーティーの提出、掲示板での情報交換、資料や教材のダウンロードなどの機能がありインターネットに接続できる環境さえ整つていれば、いつでもどこからでも利用が可能です。本学では10月より学内の無線LAN環境の整備を進めています。



『マナバ』活用に向けての説明会の様子

教育後援会の助成により、iPod touchの貸し出しを開始しました。H25秋学期の貸与は、大学13名・短大4名(10/30現在)です。

「関西福祉科学大学教育活動顕彰制度」に基づき、本学の教育活動において優れた功績を上げた教員として、平成24年度春学期授業アンケートで高得点を得た科目的担当者5名(専任3名、非常勤2名)が選ばれました。授業アンケートは、科目毎に学生の意見を聞き、教員が授業改善に取り組むことを目的として毎年実施されています。この5名は学生が選んだいわばベストティーチャーです。本学は教員一同で教育力の向上を目指してまいります。ご支援のほどお願いいたします。



ベストティーチャー表彰

専任(3名)
臨床心理学科
宇澤 弘【教育心理学】
健康科学科
倉恒 弘彦【疲労とストレスの科学】
リハビリテーション学科
山本 真紀【公衆衛生学】

非常勤(2名)
藤本 勝彦【児童養護論】
厨子 健一【児童福祉論I】

学園緑化事業でメインストリートの花壇整備

玉手山学園キャンパス・ファーチャービジョン二〇一三において、次の事業を推進しています。

(1) 学園緑化事業

(2) 総合リハビリテーション診療所建設(平成25年9月2日開設)

(3) 校舎建て替え等の中長期的検討

①校舎等の耐震診断

②短期大学新校舎建設

学園緑化事業についてご案内します。

勾玉橋正面付近と時計台周辺および大学2号館から学園本館の建物にかけての花壇整備、足元の緑化を行いました。これにより、春はシバ桜、夏はサルスベリ、秋は木々の紅葉等と季節を感じることができます。学園メインストリートがより魅力的になりました。



メインストリートに咲く花々

感恩のこころ

第9号 平成25年12月発行

発行：関西福祉科学大学教育後援会
編集：関西福祉科学大学広報誌発行委員会
〒582-0026 大阪府柏原市旭ヶ丘3-11-1
TEL 072(978)0088 FAX 072(978)0377